

流通BMSに対応したJX手順と証明書のオールインワンパッケージ
 リリースキャンペーンを実施
 ～EDIソフトウェアと電子証明書の自動取得・更新で電子商取引に万全なセキュリティを確保～

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田 和則、以下キヤノンITS)と、日本ペリサイン株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:古市 克典、以下ペリサイン)は、キヤノンITSの流通BMS^{※1}準拠、JX手順対応(EDI)^{※2}パッケージ「CollaboLink JX-Client」^{※3}に「ペリサインBMS証明書(クライアント)」^{※4}を組み合わせた共同開発パッケージの発売開始に伴い、本日よりキャンペーンを実施します。

クライアントPC向けEDIソフトウェアと電子証明書の自動取得・更新がオールインワンとなったパッケージは、流通BMSに対応したソフトウェアとしては業界初の試みです。

流通BMSで必要となる証明書の申請・取得・設定を1つのアクションで操作できるよう実装し、証明書の更新処理を自動化することが可能となるため、ユーザーは証明書がバンドルされた「CollaboLink JX-Client」を導入することで特別な手間をかけることなく、電子商取引におけるセキュリティを強化することが可能となります。

直近では、人気サーフ&スノーブランドのアパレル卸メーカー、クイックシルバー・ジャパン株式会社(以下クイックシルバー社)が、本機能を実装した「CollaboLink JX-Client」をキヤノンITSより先行導入し、大手百貨店の株式会社丸井とのEDI取引において利用を開始しました。クイックシルバー社では、本パッケージの導入により自社システムの流通BMS対応を行い、EDIのインフラを電話回線からインターネットに移行することで、通信や運用にかかるコストを削減することができました。また、インターネット環境でのセキュリティについても、パッケージにバンドルされた電子証明書を利用することで、特別な手間をかけることなく万全な対策を行い、安心・安全なEDI環境を実現できています。

ここ1年で流通業界全体では、業界大手の小売業が採用を表明する等、急速に流通BMS導入が進み、さらなる普及に向けた機運が高まってきています。キヤノンITSと日本ペリサインは、特別価格でBMSクライアント証明書を組み合わせたパッケージを提供し、よりセキュアで便利なEDI環境を実感いただくことで、流通BMSのさらなる普及促進に貢献します。

■ キャンペーン概要

期間：2011年1月19日(水)～2011年3月31日(木) キヤノンITS受注分まで有効

価格：¥80,000-

キャンペーン価格(希望小売価格・税別)	通常価格(希望小売価格・税別)
CollaboLink JX-Client ペリサインBMSクライアント証明書付き ¥80,000-	CollaboLink JX-Client ペリサインBMSクライアント証明書付き ¥130,000- (CollaboLink JX-Client 通常版は ¥120,000-)

※1 流通BMSとは、経済産業省が推進するEDIにおける次世代の標準仕様で、スーパーマーケットやドラッグストア、百貨店など小売業と、問屋などの各種卸売やメーカーがインターネットを通じて商品の受発注、価格、在庫数といった取引情報や決済などの重要なデータのやり取りを行います。FAXや専用線を用いた従来のEDIより高速かつ強固なインフラでの通信が可能になり、標準化されたフォーマットにより、運用の簡素化と投資を抑えることができます。

※2 EDIとは、受発注や見積もり、決済、入出荷など、商取引に関わる情報を、企業間で電子的に交換する仕組みです。

※3 「CollaboLink JX-Client」について

サーバーとクライアント間の通信を行うJX手順^{※※}のクライアント機能を実装しており、取引先のサーバーと直接、受発注と請求データの送受信が行えます。特別なサーバーシステムの構築を必要せず、PCとインターネットへの接続環境だけで、低コストで流通BMS環境を導入し、簡単に運用できる「運用機能(自動通信機能)」、「通信機能」、「XML変換機能」を1つにしたパッケージです。

Collabolink JX-Client製品ページ：<http://www.canon-its.co.jp/edi/jxc.html>

※※JX手順：財団法人 流通システム開発センターによって規定された、SOAP-RPCを基盤技術として利用したPULL型の通信プロトコル。流通BMSでも採用されており、JCA手順に代わるプロトコルとして、中小規模のEDIでの普及が見込まれている。従来のJCA手順のようにクライアント型とサーバー型の機能にわかれる。

※4 「ペリサインBMS証明書(クライアント)」について

ペリサインの「ペリサインBMS証明書(クライアント)」は、標準化団体である、財団法人 流通システム開発センターから適合を得た電子証明書で、2009年10月より提供を開始しています。

【キヤノンITソリューションズ株式会社について】

キヤノンMJ ITグループの中核企業として、お客さまに価値あるソリューションを提供しています。

金融、製造、エンベデッド、流通・サービス、公共・公益などの業種別ソリューションを強みに、ドキュメント、基盤、システムマネジメントサービス、セキュリティ、ERP、CRM、EDI、マイグレーションなど広範囲に事業を展開。企画・コンサルティングから設計・開発・運用・保守までシステムのライフサイクル全般にわたるトータルサービスを提供しています。

詳細は<http://www.canon-its.co.jp>をご参照ください。

【日本ベリサイン株式会社について】

日本ベリサイン株式会社(東証マザーズ証券コード:3722)は、1996年、VeriSign, Inc.(NASDAQ:VRSN)の最初の海外法人として設立され、2010年8月、米国シマンテック・コーポレーションの子会社となりました。

当社は、複雑化するネットワーク環境において、利用者がインフラの存在を意識することなく、安心してビジネスやコミュニケーションを行うことができる社会の実現を目指して、ウェブサイトの実在性を証明するサーバ証明書発行サービス、認証局構築のアウトソーシングサービス、ドメイン名登録サービス、セキュリティに関する様々なコンサルティング、そしてセキュリティトレーニングなど、情報セキュリティ全般にわたるサービスを提供しています。詳細は<https://www.verisign.co.jp>をご参照ください。

(C) Canon IT Solutions Inc. 2011

Copyright (C) 2011 VeriSign Japan K.K. All rights reserved.

※シマンテック(Symantec)、ノートン(Norton)、およびチェックマークロゴ(the Checkmark Logo)は米国シマンテック・コーポレーション(Symantec Corporation) またはその関連会社の米国またはその他の国における登録商標、または、商標です。

※ベリサイン(VeriSign)、ベリサイン・トラスト(VeriSign Trust)、およびその他の関連するマークは米国VeriSign, Inc.またはその関連会社の米国またはその他の国における登録商標、または、商標です。

※その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。